



西成特区構想発：地域つぶやき集

地域の暮らし まちづくりの主体とイメージ

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|-------|-------|---------------------------------------|
| 地域の暮らし | まちづくり | 主体 | ※ 「誰」のために「まちづくり」をするか |
| | | 主体 | ※ ・現在、生活している人たちだけが地域の主体か？今後やって来る人たちは？ |
| | | 拡大会議 | ※ ・拡大会議は、まちや地域すべてを代表しているわけではない |
| | | 特区構想 | ※ ・西成特区構想がよくわからない |

| | |
|------------|--|
| 地域主体のまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・立場の違いを認めつつ「まちづくり」のビジョンを具体的につめていく ・住民参加の機会 ・もう行政主導にはさせない。主体性を持ったまちづくりを ・みんなで話し合い、たちかえる条例を作成する |
|------------|--|

| | |
|-------|--|
| 学校の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地を利用してスポーツ施設の創設と全国大会の実施 ・小・中学校の図書館などの施設や運動場を放課後および休日、地域に開放する ・子どもたちのスポーツ競技や練習風景を高齢者が眺めて楽しむ場を設ける ・地域が整備され安定するまでは、教之茶屋小学校を何らかの形で維持 ・萩小を、今宮小中学校の第2運動場など |
|-------|--|

■地域主体のまちづくりをカタチに：コレクティブタウン構想へ
地域の課題やビジョンの共有、西成特区構想や、小中一貫校など、大きな転換に対して地域主体で動けるようプラットフォームを再確認していく。

地域の暮らし 地域の暮らしと仕事

④

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|-------|---------|--|
| 地域の暮らし | 寄せ場 | 寄場機能 | ※ ・日雇いや人の派遣と寄り場機能の低下 |
| | | 寄せ場 | ※ ・「寄せ場」としての役割が終わったとしても、問題が解決した訳ではない |
| | | 労働者の孤立化 | ※ ・仕事を求める労働者が「寄せ場」を失えば、更に企業に依存し孤立化していく |
| | | 就労支援 | ※ ・「ビジネス」と「ささえあひ」は共生できるか |
| | | 住まい | ※ ・ここは仕事の場に住むところではないと考えている人もいる |

| | | |
|--|--|---|
| 仕事づくり 生きがいがづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・未利用の市有地を生かした効率主義一辺倒ではない仕事づくり ・高齢者が自分の体力能力にみあった自分のペースでできる仕事づくり ・こんな仕事ならできる、こんな仕事をやりたいという申請を受けコーディネーターが仕事化 ・生活保護利用者が仕事に参加した場合、ポイント制とし、就労と同等の扱いとする ・青年～大人の仕事づくりの場をつくる ・今ある就労システムを継続しつつ、更に多様な就労支援を充実させる ・野菜工場（西成産野菜の地産地消を目指す） | <p style="text-align: center;">■仕事づくりとパーソナルサポート 個々人にあった仕事づくり</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・花卉栽培 ・果樹園 ・農産物の直売 ・定期市 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出しキッチン（炊き出しグループや数人のグループで共同炊事し、食事を楽しむ） ・料理教室（単身高齢者のための手軽で健康に良い食事づくりを教えあう） ・ジャムや佃煮など加工食品づくり ・再資源化ファクトリー | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・リヤカーで資源ゴミを回収。大型ゴミの持込み歓迎。ゴミの分別と再利用を図る ・電化製品、家具などの修理と再利用 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇や遊歩道整備・道路清掃、樹木の剪定、草刈 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの安否確認 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院などの付き添い、荷物運び ・子どもたちの登下校の見守り、地域内の名所案内など | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・再資源化ファクトリー | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・電化製品、家具などの修理と再利用 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇や遊歩道整備・道路清掃、樹木の剪定、草刈 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの安否確認 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院などの付き添い、荷物運び ・子どもたちの登下校の見守り、地域内の名所案内など | | |

地域の環境 空間活用①

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|------------|----------|---------------------------|--|
| 地域の環境 | 空間活用（みち） | 居場所 | ※ ・行き場がなく道端でたむろしている生活保護を受けている者も多い |
| | | 居場所 | ※ ・狭い歩道から出て道路上で過ごす者も多い |
| | | 移動 | ※ ・他地域から通り抜けようとする、非常に通行しにくい状態にあり、逃げようとする |
| | | 道路 歩道 | ※ ・道幅は広いが、歩道がない |
| | | 空間活用（あいりんセンター） | センター |
| 空間活用（線路跡地） | 空き地 | ※ ・線路跡地がフェンスで仕切られ活用されていない | |

| | |
|-------------|--|
| あいりんセンターの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・現「あいりんセンター」「市営住宅」を建て替え ・1・2階はショッピングモール ・2・3階は市、府の役所分室 ・それ以上はファミリーマンション ・南海本線、JR新今宮駅を地下や階上で連結し、一体化 ・労働センターの解体と総合イベント会場の設立 |
|-------------|--|

■あいりんセンター界隈の空間活用

先進医療拠点や、福祉窓口、子育て支援窓口、就労支援窓口など、セーフティネット拠点化や、新今宮駅と連結したバスターミナルや総合インフォメーションセンターの設置など、玄関口としてのターミナル化などをめざす

地域の環境 空間活用②

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|------------|----------------|-------------------------|--|
| 地域の環境 | 空間活用(みち) | 居場所 | ・行き場がなく道路上でたわろしている生活保護を受けている者も多い |
| | | 居場所 | ・狭い部屋から出て道路上で過ごす者も多い |
| | | 移動 | ・他地域から運び揚げようとする、非常に進行しにくい状態にあり、逃げようとする |
| | 空間活用(あいりんセンター) | センター | ・労働センター、医療センター、新今宮駅、市営住宅など多くの問題を抱えている |
| 空間活用(線路跡地) | 空き地 | ・線路跡地がフェンスで仕切られ活用されていない | |

| | |
|--|--|
| 空き地の活用 | ・子どもや高齢者、障がいを持つ人、地域の人々、旅人にとって憩いの場/働く場となるよう活用する |
| | ・空き地で馬などを飼うのはどうか |
| | ・未利用地を共用スペースとして利用するための整備 |
| | ・市有地のほか、個人、法人所有の空き地や空き店舗、空き家などについても、活用アイデアを募集 |
| | ・地域の活性化につながると評価されるものについて、行政が活用を借り上げ、援助する |
| ・広い道路や、公園、空き地で、朝市、露店を目玉に! ※合法的に、実験的に、にぎわいを活かして | |

■空き地などの空間活用

線路跡地や、空き店舗、みち空間などを、コミュニティの場として活用。朝市や露店といった地域オリジナルの活用方法も、実験的に制度を整備しつつ、活かしていく方向をめざす。地域に眠っている空間を使って、様々な居場所づくりを展開。

地域の暮らし 居場所づくり

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|-------|----------|------------------------------|
| 地域の暮らし | 居場所 | 日中生活の場 | ・路上や立ち飲み屋など、時間つぶしの居場所しかない |
| | | シェルター | ・夜間にシェルターに宿泊していた人々が朝には出される |
| | | 緑化 花 | ・緑化をすすめているおじさんがいるが、行政と対立している |
| | | まつり イベント | ・まつりやイベントがいろいろある |

| | |
|------------------------|--|
| 居場所づくり | ・社会参加やつながりづくりなどを生み出す創造的な居場所をつくる |
| | ・いくつかのコミュニティの場を創設し、そこに集まった力で集客力ある大規模なストリート運営 |
| | ・高齢者の地域住民を中心に、歴史の語り部館の創設や、イベント館の創設 |
| | ・快適な居場所としての情報交換ひろば |
| | ・仕事のない人たちや高齢者が、昼間も有意義に過ごせる場所や作業所を考えながらつくる |
| | ・単身高齢者をはじめとした居場所づくり |
| ・地域住民と演芸、文化、芸術を楽しむ居場所を | |

■空間活用から居場所づくりへ

社会参加の場、地域住民とのつながりの場、情報交換の場、文化・芸術など創造の場など、地域性に合わせた居場所づくりをめざす。仕事や日中活動など、日々の暮らしのなかで、生きがいや楽しみ、喜びなどを感じられる居場所を地域住民とともにつくる。

地域の環境 ターミナル化と地域の発展

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|-------|-------|-------|-----------------------|
| 地域の環境 | まちの発展 | 将来性 | ・このままでは沈没あるのみ |
| | | 計画性 | ・まち全体をつくり替えることは容易ではない |

| | |
|---|---|
| 玄関口・ターミナル化 | ・ここは「秋の茶屋」、「西成区」の玄関である |
| | ・新今宮駅周辺JR2本、地下鉄3系統、南海線2系統、国道43号、26号、堺筋が通る |
| | ・梅田「大阪駅」に次ぐターミナルにふさわしい場所 |
| | ・再開発して玄関にふさわしいものにつくりかえる |
| | ・26号線から堺筋まで、長大な駅ビルをつくる |
| | ・この区間は高架化し、浪速区側とも一体化する |
| | ・43号線花園北交差から43号線太子交差までの南側も関連施設を建設 |
| | ・一大ターミナルの構築 |
| | ・関空、奈良方面、神戸方面、大阪中心部へのハブ機能を持たせる |
| | ・新今宮駅と労働センターを地下もしくは地上で繋ぎ大きなターミナルにする |
| ・新今宮駅を西成の玄関口とするため、駅ビルを建設 | |
| ・地下鉄御堂筋線・堺筋線の動物園前駅、阪堺線の南陵町駅を含めての商業施設を建設 | |

■人・もの・情報・文化が行き交うターミナル

多くの人を繋ぎてきた歴史を活かし、国際的な交流拠点をめざす。鉄道網、道路網など、交通の利便性や、低廉かつ中長期的にも利用可能な宿泊施設、周辺の観光資源など、旅行やビジネス、ヒューマンサービス(福祉、就労、医療など)の場として、幅広く人々が行き交い、情報がストックされ、文化も育つターミナルをめざす。

地域の環境 国際化と地域の発展

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|-------|------------|---------|------------------------------------|
| 地域の環境 | 国際ゲストハウス地域 | バックパッカー | ・取寄ポテンシャル:60軒x100人、稼働率7割で年間153.3万人 |
| | | 交通 利便性 | ・交通の利便性が極めて高い |
| | 商店 | 飲食 | ・飲食店、弁当店が多い |
| | | グルメ | ・8級グルメが豊富 |
| | | 飲食 | ・食料品が安い |
| | | 商店街 | ・商店街がある |

| | |
|--|--|
| 国際ゲストハウス地域 | ・新今宮周辺を「大阪国際ゲストハウス地域(仮称)」とする |
| | ・大阪市や西成特区の観光施策のなかで、関西広域圏の国際宿泊拠点と位置付け育成する |
| | ・ネーミング、ゾーニング、施策への盛り込む |
| | ・官民挙げて、看板や標識の英語化が英語併記化 |
| | ・堺筋、国道43号線、銀座通り、動物園前一番街などを、「大阪国際ゲストハウス地域」と関連する線形の波及(支援)地帯と位置付け育成 |
| | ・面のゾーニング、点の指定、点から線へ線から面への戦略 |
| | ・OIG加盟の簡宿を点に指定、経営転換のモデルケースと位置付ける |
| | ・労働者向けの簡宿(福祉併用型簡宿も含む)から、外国人・国内観光客向けのゲストハウスへの経営転換を後押しする施策を実施 |
| ・ハード・ソフト面での姿勢を促し、方向性を示すための助成 ※東京都台東区での取り組みを参考に | |
| ・「大阪国際ゲストハウス地域(仮称)」およびその線形の波及地帯に立地する公共性の高い機関(例えば、鉄道事業者・警察・救急など)の外国人対応を強化する | |
| ・観光目的の来訪者および滞在者が、安心して安全に滞在できる環境整備に取り組む | |

■国際化とエリアマネジメント

ターミナル化などを推進するとともに、この地域の集客力を活かした国際ゲストハウスエリアを形成・発展させる。さらに地域全体を巻き込み、商店街の活性化や、空き地・空き店舗などの空間活用も視野に、簡易宿所資源や地域資源の魅力を活かしていく。

地域の暮らし 子ども・子育て・子育てのまちづくり

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|---------|----------|---------------------------------------|
| 地域の暮らし | 子ども・子育て | 家族 住まい | 現状では、他地域から子育て世代のファミリーを誘致しようとしても在り処がない |
| | | 子育て | ここで子育てしようと思わないのでは |
| | | 家族 歴史 | 以前、生活していた子どもたちは別のところに住んでいる |
| | | 子育て環境 | 地域の現状を見て、子どもたちは将来に希望が持てず、イキイキと暮らせない |
| | | 子育て環境 家族 | 子どもを連れて家族を養ってあげたいという希望がある |
| | | 家族 歴史 | あいろん地域及びその周辺に於て生活していた子どもたちは、他地域へ出た |
| | | 子ども あそび | 子どもの声が届かぬまま、子ども呼び込みまちづくりがテーマに掲げられている |
| | | 子ども 想像力 | 子どもたちは想像的な想像力を持っている |

- 子育てや高齢者が安心して生活のできるまちに
- 子どものいる所帯にはより優遇する
- 3世代同居には減税優遇する
- 単身高齢者向けの福祉マンションから家族・子連れ向けの居住施設への経営転換を後押しする施策を実施する
- ハード・ソフト面での案を促し、方向性を示すための助成
- 地域全体で子どもを見守り、ともに育て合うまちづくり
- 家族が住める住宅やアパートをつくる（簡借の転用等も）
- 自立援助ホームをつくる
- 青年たちの文化活動の場をつくる
- 3~4年後の小中一貫校を成功させ、高いレベルの学校づくりにより、区外から子育て世代が流入、地域は活性化
- 赤ちゃんの駅の協力を得やす〜施設や店舗などを活用し、地域のママ・パパを中心に、授乳、おむつ替え、トイレなどの場所を開放する取り組み
- 子どもたちが思いやり深く、人間社会に信頼をもって育つために、高齢者にとっても良好な環境をつつていく必要がある
- 青少年の生活の場が必要

■地域で子育て 地域と子育て

子育て環境を住まい、支援、教育、地域、制度などから改善していく。また今ある子育て支援の団体や施設、取り組みを評価しつつ、子育てのまちをめざす。

地域の暮らし 生活保護・単身高齢者

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|-------|--------|---------------------------------|
| 地域の暮らし | 生活保護 | 受給率の増加 | 生活保護受給率が高く、福祉のまちと呼ばれるようになってきている |
| | | 生活スキル | 生活スキルが低い人が多い |
| | | 居場所 | 生活保護者の居場所、社会的役割が乏しい |
| | | 生きがい | 生活保護者の非雇用ニーズ（生きがい）が乏しい |

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|--------|------------------------|-------|--|
| 地域の暮らし | 単身高齢者 | 人口減少 | 10年後にはあいろん地域の人口も半分以上になってしまっている |
| | | 高齢化 | あいろんは他の地区と比較して高い高齢化率が進んでいる |
| | | 高齢化 | この地域に定住しているのは、圧倒的に単身高齢者が多い |
| | | 単身高齢者 | 単身高齢者・生活保護者に限る問題 |
| | | 生きがい | 持っている者は「今更、遅れるのは」と考え持っている高齢者や単身高齢者ばかりでは |
| | | 生きがい | 狭小な部屋に住み、仕事がいなくて仕事がなく、生きがいや楽しみを感じることが少ない |
| | | 生活スキル | 高齢、単身生活に伴うセルフコントロール能力低下 |
| 子ども | この地域に住む高齢者の大半は子ども好きである | | |

- まちなかに、いろんな相談ごとによってくれる交通のような機能と人々の交流の場（コミュニティカフェなど）を併設する
- お坊さんによる看取り、葬送などの支援
- 高齢者に対して施策をとるだけでなく、高齢者の方々にまちづくりの力になってもらう
- 医療と福祉の総合施設の創設
- 現在、医療と福祉は相互に連携をとることで努力している
- 医療と福祉の連携を集約することが出来れば、より問題の解決につながるのでは
- 一般医療とアルコール、薬物等依存からの回復訓練、生活訓練と就労訓練、その他を含めた総合施設の創設
- まちの福祉化それ自体が問題ではなく、その人たちがどう生活していくか考えることが重要
- 地域で地道に取り組んできた様々な活動を評価する
- 個々の活動を知り、集団に助産を聞き、共にやっていくという目標で動く
- 地域「住民」による活動（自助と相互扶助）
- 医療ビルの誘致、西成区役所の出立窓口

■社会資源を活かした連携 福祉、医療、司法などの連携をいかしたセーフティネット

地域の暮らし ゴミ・覚醒剤などの環境改善

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|-------|-------|-------------|--|
| 地域の環境 | ゴミ | 野焼き | 地域内から出てくるあまり燃じないが、外、特に離れたところから見ると汚い |
| | | 不法投棄 | 道路や、公園は不法投棄によるゴミだらけ |
| | | 監視カメラ | 環境事務所が監視カメラを付けても、そこ以外の場所でのゴミがどうなるか疑問 |
| | | 不法投棄 | 不法投棄が多い |
| | | 不法投棄 | ゴミが多い |
| | 覚醒剤 | 死人 | 麻薬の売人とおぼしき人たちが、一日中まちの角々になって、あるいは眠っている光景は異様 |
| | | 日中飲酒 死人 子ども | 麻薬、薬の問題など、環境として子どもを遊ばせたいと思う親はいないと思う |
| | 飲酒 | 自動販売機 日中飲酒 | 昼から自動販売機の周りにお酒を飲ながら居る人、大声を出している人が自立つ |
| | | 自動販売機 日中飲酒 | お酒の自動販売機が無秩序に多すぎ |
| | | 自動販売機 日中飲酒 | お酒の自動販売機でいっぱい |
| 自動販売機 | | 自動販売機が多い | |

- 暴力団の排除
- 薬物の取り締まりの強化
- 賭博・ノミ行為の取り締まりの強化
- 麻薬、暴力団の問題等については徹底排除に取り組んでいってほしい
- 麻薬売人等を頻りに職務質問するなど、もっと厳しく取り締まってほしい
- 覚醒剤の撲滅
- 監視カメラの設置

■環境改善から子どもも高齢者も

- たばこの喫煙マナーの向上（歩きタバコ禁止）
- 環境衛生面の向上
- 公園、公園での飲酒制限
- 街灯の増設を含め物理的に明るいまちづくりを実施
- 大きな通りも、薄暗い路地も、明るさを改善
- ゴミの不法投棄の取り締まり強化
- 清潔なまちづくり

暮らしやすいまちへ
ゴミ、覚醒剤などの課題を官民連携して改善していく。また地域外へも、地域イメージの改善をはかっていく。

地域の暮らし 地域資源の見直し

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|-------|-------|-------|--|
| 地域の環境 | 宗教 | 神社 寺 | 地域内に社寺仏道がない |
| | | 風習 | 従って無宗教小学校の興校により、風習などの継承が難しく、風習などの継承が心配 |
| | | 緑化・花 | 地域内にみどりがない |
| | | 犬 | 野犬及び犬糞が多い |
| | | マナー | 一般常識を持ち合わせない人々も多く、ところ構わず小便をしたり、つばを吐く |
| | | 公園 | 公園が多い |

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|-------|-------|--------|----------------------------------|
| 地域の環境 | 自転車 | 路上駐輪 | 道路はおびただしい量の自転車が遊離（歩道、車道側方）を占拠 |
| | | 駐輪 ゴミ | 常にこの状態のため、捨てられたゴミで、駐輪された場所が汚れている |
| | | 駐輪 | 駐輪台が少ない |
| | 公共設備 | 自転車 健康 | みんな自転車をよく利用し健康？ |
| | | トイレ | まちなかに、洋式トイレがない |
| | | トイレ | 子ども、女性が安心して利用できるトイレがない |
| | | トイレ | 公共便所（男女別）は多い |
| | | 公衆電話 | 公衆電話が多い |

- トイレマップをつくる
- トイレの整備（立小便禁止）
- まちなか自動販売機&イートインゾーンの設置
- ガードマン（ボラバイト的に）の配備
- 寺院や神社の誘致

- 緑化に興味のあるひとと話し合いを行ない、場を提供
- 緑地やマンションの屋上、遊歩道など、公共的な場の緑化をめざす
- 花いっぱいプロジェクトとともに、まち全体を明るくしていくことで防犯効果も

■地域資源を再評価し、環境改善

緑化などの景観づくりや、トイレマップなどの身近な公共設備の活用、自転車などの地域特有の課題の改善などをめざす。

地域のつながり ネットワークづくり

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|---------|-----------|-----------|--|
| 地域のつながり | セーフティネット | 総合相談 | ※ ・こまったこと（何に困っているかわからないケースも多いが）も気軽に尋ねたり話せるところがない |
| | | セーフティネット | ※ ・今後も仕事や職を得るの生活を求める人々を、受け入れて行けるか課題 |
| | | セーフティネット | ※ ・被災支援と自助とのバランスが難しい |
| | | セーフティネット | ※ ・地域内に必要な行政機関、医療機関がない |
| | | セーフティネット | ※ ・あいりん地区は社会で適応しにくく生きづらいうちが取りつき暮らしている |
| | ネットワーク・連携 | ネットワーク・連携 | ※ ・それぞれの現場が手いっぱい、他の組織や場を知る機会がない |
| | | ネットワーク・連携 | ※ ・代表者だけがらうじてつながっている感がある |
| | | ネットワーク・連携 | ※ ・地域団体、地域住民の連携の機会ができてきている |
| | | ネットワーク・連携 | ※ ・現在、産産と福祉は相互に連携をとることで努力している |
| | | ネットワーク・連携 | ※ ・ |

| | |
|--------|--|
| 地域情報発信 | ・コミュニティラジオをつくり、地域情報を中心に人をつなぐ |
| | ・コミュニティ活性化・防災にも役立つ |
| | ・地域の人々、高齢者、障がい者の人たちのものづくりを支援しパッケージ化し販売する（ネット販売も） |
| | ・地域のいろんな「イベント」を情報発信 ・支援団体のわかりやすい案内づくり |

| | |
|-----------|--|
| 新たなネットワーク | ・それぞれの組織や場のスタッフなどの情報交換/共有の場を定期的にもつ |
| | ・あいりん（釜ヶ崎）新聞（あわせてホームページも） |
| | ・釜ヶ崎についての情報がクローズドになりがちである |
| | ・それぞれの組織の人たちが互いに、さまざまな活動や場所などを取材し、定期刊行物とし、ネットなどで発表し、自分たちのメディアをもつ |
| | ・労働センターと更生相談所と福祉施設の3者合体 |
| | ・医療センターと労働センターと更生相談所の3者合体 |
| | ・「まつり」を通じて、地域全体がつながる機会に※多様な地域団体が、協力、連携する機会として機能 ・風毛保護受給者の訪問強化※ケースワーカーや支援団体など柔軟に連携して※支援団体の支援対価の問題も検討 |

■ネットワークの再構築・再活用

それぞれ特徴的な団体や取り組みを大切にしつつ、様々な分野（労働、福祉、医療、まちづくり、アートなど）が連携できるネットワークづくりをめざす

地域のつながり 地域の活性化と住まいの多様化

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|---------|--------|---------------------|---|
| 地域のつながり | 社会資源 | 地域資源 | ※ ・生きづらさを抱える様々な人びとを支える社会資源が豊富 |
| | | 地域資源 | ※ ・支援団体が多い |
| | | 地域資源 | ※ ・いろんな活動団体がある |
| | | 地域資源 | ※ ・吹き出しが多い |
| | 支援つき住宅 | 支援つき住宅 | ※ ・貧困ビジネスとNPOサポーターハウス連絡協議会加盟のサポーターハウスの区別化 |
| | | 支援つき住宅 | ※ ・一人ひとりに寄り合い、自立を支援しているアパート |
| | 結核対策 | 結核対策 | ※ ・結核治療において両害となっているのが、個々人の生活ではないだろうか？ |
| | | 結核対策 | ※ ・現在、福祉事務所を訪れた人たちが、各種活動のなかで検診が実施されている |
| | 結核対策 | ※ ・結核の履生月検診の推進と実施あり | |

| | |
|--------|---|
| 地域の活性化 | ・商店街の外国人対応と活性化を促す施策を実施する |
| | ・既存の店舗に客容を促し、新たな参入を促すための助成 |
| | ・空き店舗の賃貸に公的組織が仲介し保証、不動産を動かす 他 増2000案 プラン |
| | ・まち全体に彫刻等でうめつくし、芸術のストリートに ・街角コンサートや大道芸等のイベント開催 |

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 住まいの多様化 | ・住宅の整備 |
| | ・所帯用の住宅を安価で提供する |
| | ・シェルターではなく住宅（住居）を |
| | ・緊急避難と一時的な生活の場としての機能と、定住生活ができる機能の両立 |

■チャレンジできるまちへ

空き店舗の活用を推進するなど、ビジネス、仕事、ボランティア、まちづくり、アートなどチャレンジできる環境整備と、それを支える住まいづくりをめざす。

地域のつながり いろんな情報を発信

| 大カテゴリ | 中カテゴリ | キーワード | 主な実態・課題・疑問 |
|---------|----------|----------|--|
| 地域のつながり | 歴史 | 歴史 | ※ ・この街で生き、生涯を終えていった労働者たちから何を学んだのか |
| | | 歴史 | ※ ・いつの時代も政策や行政の移り変わりが来た（受け身の）歴史 |
| | 地域発信 | 地域発信 | ※ ・文字（紙媒体）やネットでは情報をとれない高齢者や障がい者がおおい |
| | | 地域発信 | ※ ・釜ヶ崎に視察にまでもお土産がない（支援になるからお土産を買いたいとおもうはず） |
| | 調査・研究・学習 | 調査・研究・学習 | ※ ・学生などの研究成果が地域に還元されているか疑問 |
| | | 調査・研究・学習 | ※ ・取材や見学者が多い |

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 大学・企業との連携 | ・企業の場合、製造業のほうがベターだと考えるが、企業や大学の誘致 |
| | ・交通等至便な有利性と優遇税制を含めた施策 |

| | |
|----------|---------------------------|
| 調査・研究・学習 | ・フォーラムや学芸などで、3、4月は発表の機会を |
| | ・多様な案内（フィールドワーク）に応える総合窓口を |

■調査、研究、学習機会と情報発信

様々な分野の研究やフィールドワークを情報発信の場として活用していく。また、外とのネットワークを生み出す機会としても活かして、地域の課題や魅力を学ぶ場を生み出していく。

地域のつながり 地域の諸課題を改善

| | |
|---------|--------------------------|
| バリアフリー化 | ・移動時のバリアフリー化、タウンモビリティの導入 |
| | ・車いす、電動車いすの貸し出し |

| | |
|----------|--|
| 自転車環境の改善 | ・自転車整理（不法駐輪の自転車を一定場所に移動させる。移動料金を徴収する。） |
| | ・放置自転車の撤去 |
| | ・放置自転車の整理&リサイクル |
| | ・自転車に識別シールを貼付（アパート毎） |
| | ・自転車置き場の設置 |
| | ・自転車のマナー教室&健康増進 |

| | |
|------|---|
| 結核対策 | ・結核検診の充実と治療継続 |
| | ・広げる施策として対価制度の導入 |
| | ・検診を受けることで地域通貨を発行して利用できるようにする |
| | ・治療継続のために必要であれば期間限定の生保適用もありだと思える |
| | ・結核対策を西成区アクションプランに取り入れ、結核健診での連携と情報発信を拡大 |

■課題を魅力に転じバリアフリー化

今ある良さと、課題を活かしながらまちづくりを進める。移動のしやすさ、自転車などの活用、結核などの見えない課題に対しても、今ある課題を改善しつつ、魅力へと転じていく。